

『手専門外来』スタート!

2025.10
no.213

飯塚病院だより

飯塚病院だより
no. 213

2025年(令和7年)10月10日 編集・発行 飯塚病院地域共創・広報戦略課 印刷 マツオ印刷株式会社

01

YouTube
『飯塚病院DX
「中の人」チャンネル』
はじめました!

このたび、当院の看護部・DX推進担当の上川とDX推進室・田中が、YouTubeチャンネル『飯塚病院DX「中の人」チャンネル』を開設しました。この番組は、病院のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する二人が、普段どのような会話を交わしているのかをありのままに届けたいからです。

DX担当者の視点から、日々の奮闘やニュースを語り合うこともあれば、仕事と全く関係のない「与太話」に花を咲かせることも。そんな二人の何気ない対談を通して、当院で働く職員の人柄や、病院の新たな一面に触れていただき、飯塚病院をより身近に感じていただければ幸いです。



02

院外処方移行のお知らせ

厚生労働省が進める医薬分業の方針に則り、当院においても、2026年春より「院内処方」から「院外処方」へ移行します。これまで院内でお渡ししていたお薬を、これからは院外の保険調剤薬局にてお受け取り頂くこととなります。

院外処方には、以下のようなメリットがあります。

- ・ご自宅や職場の近くなど、ご都合のよい薬局を選ぶことができます
- ・ご都合のよい時間にお薬を受け取ることができます
- ・複数の医療機関にかかっている場合でも、1つの薬局でお薬を受け取ることによって重複や飲み合わせを確認でき、お薬を安全に使用できます
- ・お薬の飲み方や副作用のご相談、また十分な説明を受けることができます

院外処方への移行に伴い、ご不便をお掛けする場面もあるかと存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

詳細や最新の情報は飯塚病院ホームページをご確認ください。



03

新任副院長のご紹介(2025年9月1日就任)

副院長
佐々木 智成

このたび副院長を拝命しました放射線治療科の佐々木智成(ささきともなり)です。当院に赴任して4年目となります。これまでより多くの患者さんによりよい放射線治療を提供することをモットーに診療に取り組んでまいりました。今後は病院の基本理念もふまえて、「よりよいまごころ医療」をより多くの患者さんに提供できるよう努める所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

04

飯塚病院公式LINEで
医療に関する「知っ得」
情報をお届けしています。

友だち登録して最新情報をゲットしてください!

友だち登録の手順

QRコードから友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」↓QRコード
- ② 左のQRコードを撮影
- ③ 追加をタップで登録完了

ID検索から友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」↓検索
- ② 「ID」を選択 ↓「@qsu3427e」を入力
- ③ 追加をタップで登録完了

LINE公式
アカウント医療に関する「知っ得」情報を、
LINEでお届け。

飯塚病院



『手専門外来』とは...

当院の整形外科では2025年8月より「手専門外来」(完全予約制)を開設しました。

診察日は月曜日(午前・午後)・水曜日(午前)で、対象の患者さんは手指・手関節の症状を主訴に、整形外科受診を希望される方です。

手専門外来では、手根管症候群をはじめ、肘部管症候群・前骨間神経麻痺・後骨間神経麻痺などの神経疾患、ばね指・ドケルバンなどの腱鞘炎、ヘバーデン結節・母指CM関節症などの変形性関節症、デュブイトレン拘縮、キンベック病、ガングリオンや軟部腫瘍の摘出、関節リウマチ患者さんの関節・腱手術など幅広く治療を行っています。

外傷におきましては、手指骨折・脱臼や橈骨遠位端骨折などの骨折治療に加えて、挫滅創による腱・神経・血管損傷における顕微鏡を用いた治療にも対応していますのでお問合せください。

また、外来は完全予約制ですので、医療機関からのご予約をお願いしております。手指・手関節の症状でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、当院手専門外来へご紹介ください。

【監修】 整形外科 久保祐介

飯塚病院

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83

Tel.0948-22-3800(代表)

QRコードから検索できます

ホームページ

医療者監修コラム
ピカラダ

LINE@



facebook



特集 『手専門外来』 スタート！

当院整形外科手専門外来の特徴として、**手根管症候群・母指CM関節症・橈骨遠位端骨折**の3疾患における取り組みをご紹介します。

手根管症候群とは

手根管症候群は、中年以降の女性に比較的多く発症する病気です。指先に向かう神経の一つである正中神経が、手関節の手のひら側にあるトンネル（手根管）部で圧迫された結果、症状が出現します。

親指から薬指にかけての、夜間や安静時のしびれが初期症状として出現し、神経の圧迫が持続すると、親指の付け根の筋肉（母指球筋）が萎縮してきます。症状は時として両側の手に出現することもあります。



当院での手根管症候群治療について

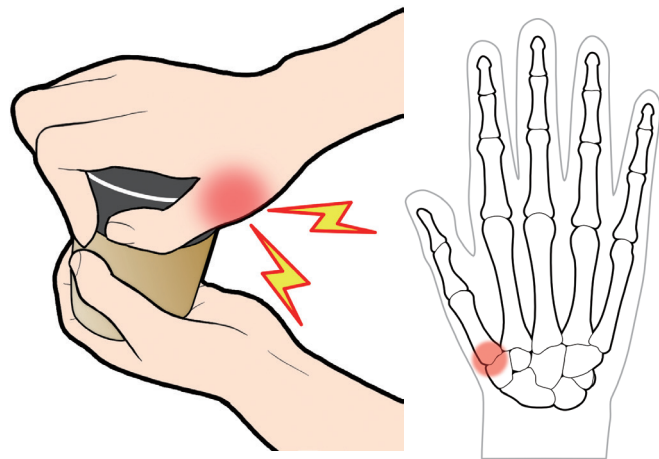
初期の場合は手関節固定装具での安静や、ステロイド注射、内服薬処方などの保存療法で症状が軽快する場合も多いため、開業医の先生方に治療をお願いしております。しかし、保存療法で症状が軽快しない場合や、痺れ・疼痛が強い場合、筋萎縮が生じた場合等は、神経を圧迫している靱帯を切離し、神経の圧迫を解除する手術を行う事になります。

当院では、通常の直視下の手根管開放術だけではなく、より専門的な技術を要する鏡視下手根管開放術も行っており、最適な治療を患者さんと話し合いながら提供できるように心がけています。鏡視下手根管開放術では、手のひらや手首に小さな切開をおこない内視鏡を挿入し、専用のナイフで靱帯を切離します。手のひらの手首に近い場所に傷口ができないため、手をついたりする動作での痛みが少なくなります。

母指CM関節症とは

母指CM関節症は、手指の使い過ぎや老化に伴って母指の付け根のCM関節（※左図）の軟骨の摩耗が生じ、関節が腫れたり、亜脱臼に伴って母指が変形したりする症状です。

物をつまむ時やビンの蓋を開ける時など母指に力を必要とする動作で痛みを生じます。



当院での母指CM関節症治療について

最初は投薬やステロイド関節内注射、局所安静を目的とした軟性装具を装着します。痛みが強く亜脱臼を伴う高度な変形がある時には、手術を行います。手術法には、関節固定術や関節形成術、靱帯再建術などがあります。症状や各術式のメリット・デメリットを踏まえて手術を選択します。

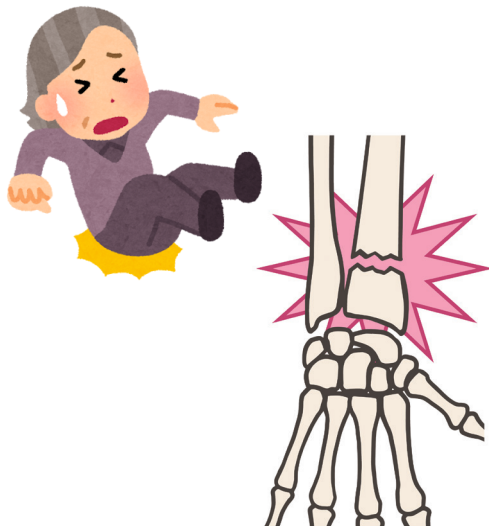
また当院では、従来の関節固定術・関節形成術などに加えて、適応によっては関節温存の中手骨矯正骨切りを行なっています。中手骨矯正骨切りとは、軟骨のすり減りが比較的軽度な場合に関節のずれを矯正するために骨を切り、整復を行なう手術です。術後に骨を固定するためのプレートを開発した、溝口整形外科病院と連携して治療を実施します。

橈骨遠位端骨折とは

橈骨遠位端骨折は、前腕の親指側にある橈骨という手首に近い部分の骨が折れる骨折です。転倒して、手のひらをついたときや交通事故などで強い力が加わったときに起こりやすいとされています。特に、中年以降の女性は骨粗鬆症により骨が脆くなっているため、簡単に骨折してしまいます。

手首に強い痛みが生じ、短時間のうちに腫れてきます。折れた骨や腫れによって神経が圧迫

され、指がしびれることもあります。



当院での橈骨遠位端骨折治療について

通常の治療としては、ずれた骨を戻すために整復を行い、ギプスなどで固定します。整復が難しいものは手術が必要となります。

骨折の要因となる骨粗鬆症の患者は高齢化に伴い増加しています。骨の健康状態を知る指標として「骨密度」という言葉はよく知られているかと思います。しかし、骨の強さは「骨密度」70%と「骨質」30%により規定されます。（※骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版より）

そのため、当院は骨粗鬆症の評価として、通常のDXA法

骨密度	骨に含まれるカルシウムなど、単位面積当たりの骨の量のこと
骨質	骨の微細構造、骨の代謝、微小骨折の有無、石灰化の状態などのこと

(Dual-Energy X-ray Absorptiometry: 2種類のX線を照射して骨密度を測定する方法)による腰椎・大腿骨頸部の骨密度測定に加えて、特殊な解析ソフトウェアを用いた、腰椎のTBS (Trabecular bone score: 海綿骨構造指標)による骨質評価も行っています。

また、50歳以上を対象に、転倒の原因となるロコモティブシンドローム（骨や関節、筋肉などの運動器が衰え、立つ・歩くといった移動機能が低下している状態）の評価と体操指導に取り組んでいます。

医師紹介



久保 祐介
(クボ ユウスケ)

専門分野…
整形外科一般、手外科
認定医・専門医・指定医等…
日本整形外科学会整形外科専門医／
日本整形外科学会認定運動器リハビリ
テーション医

地域のみなさまのご期待に応えられるように精進致します。どうぞよろしく願います。